

Blackboard

1. 概要

Blackboard は Web ブラウザを利用したオンライン授業支援システムで、既に導入済みだった授業支援システム CHORUS と平行して 2012 年に導入された。年 2 回（春夏）のアップグレード・累積パッチ適用を継続して実施しているが、動作確認が完了したバージョンを導入しているため、最新版は「Q4 2018」だが立教大学は「Q4 2017」になっている。

2017 年度に CHORUS の授業利用が終了し、Blackboard への一本化が行われた。そのため、2018 年度より CHORUS を集計の対象から除外している。

2. トピックス

(1). Blackboard

- ① Q4 2017 適用メンテナンス
→ 作業時間：2018/8/13（月）～2018/8/14（火）
- ② レスポンシブデザインに対応したことにより携帯端末での表示が改善された。
- ③ Internet Explorer 利用時に発生する不具合の問い合わせが続き、Blackboard でもサポート対象外となることから、Microsoft Edge に続いて Internet Explorer のアクセスを制限した。
- ④ マニュアルの、PDF ファイルからウェブサイト運用への切り替え準備。
→ <https://helpdesk.rikkyo.ac.jp>

(2). CHORUS

- ① 2017 年度で授業利用が終了し、サーバを停止した。

3. 利用状況

アシストマイクロ社から送られてくる「利用集計」をもとに 2018 年 4 月 1 日から 2019 年 3 月 31 日までのデータを集計した。

CHORUS の終了通知により利用者の急増した前年度から、更に利用者が 170 名、利用率が 5.5%伸びており、特に専任教員の利用率が 82.1%と大幅に伸びている。

(1). 利用状況前年度比

Blackboard		登録者 (人)	利用者 (人)	利用率	全登録 者(人)	全利用 者(人)	利用率
2017 通年	専任	605	456	75.4%	2433	1304	53.6%
	兼任	1828	848	46.4%			
2018 通年	専任	613	503	82.1%	2494	1474	59.1%
	兼任	1881	971	51.6%			
年間増加率	専任	+8	+47	+6.7%	+61	+170	+5.5%
	兼任	+53	+123	+5.2%			

表 1 : 利用状況前年度比較

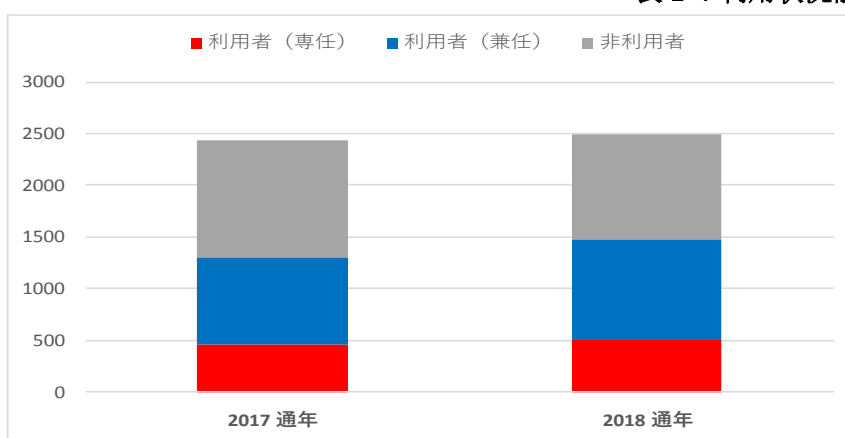


図 1 : 利用状況前年度比較

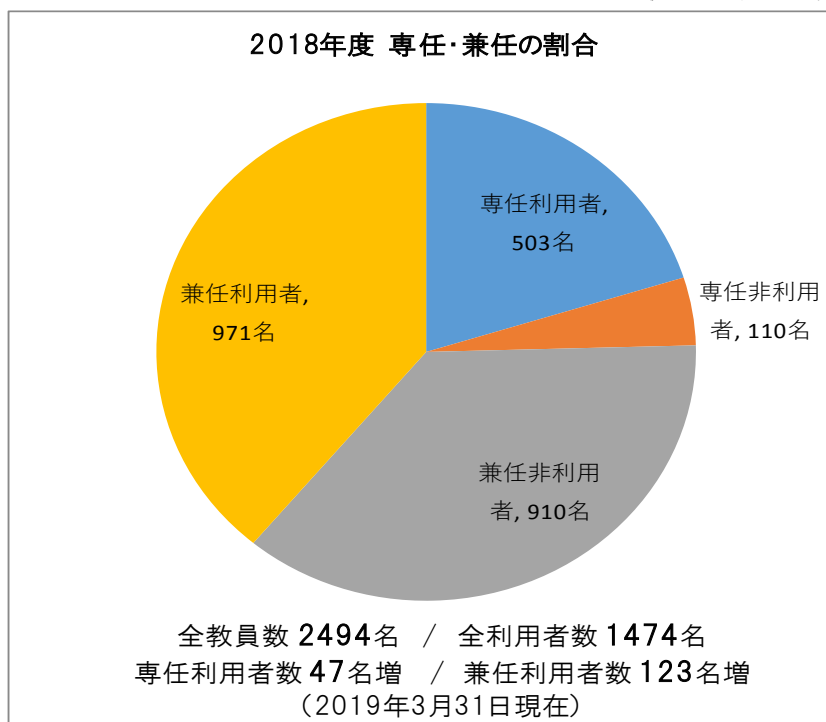


図 2 : 専任・兼任利用者割合

(2). 学部別利用状況

理学部を除く 10 学部の利用率が上昇し、一番低い経営学部でも 55.6%と、すべての学部で 50%を越える結果となった。理学部の利用率が下がっているのは、登録教員数が 40 人弱増加したことが影響していると考えられ、利用者数自体は増加している。

その他、昨年度利用率の高かった独立研究科や全学共通カリキュラムなど、高い利用率を維持している。

教員の問合せ件数は 16 件の微増と、利用率の増加と比べて落ち着いている。同一教員から複数の問合せが行われることが多い。

項番	種別	所属名	2017年度				2018年度			
			登録教員数(人)	利用教員数(人)	利用率(%)	問合せ件数	登録教員数(人)	利用教員数(人)	利用率(%)	問合せ件数
1	学部	文学部	344	174	50.58%	71	337	206	61.13%	66
2		経済学部	133	92	69.17%	51	128	98	76.56%	55
3		理学部	177	110	62.15%	66	215	120	55.81%	39
4		社会学部	179	109	60.89%	52	178	120	67.42%	58
5		法学部	107	68	63.55%	26	114	81	71.05%	31
6		観光学部	108	48	44.44%	12	113	65	57.52%	26
7		コミュニティ福祉学部	143	78	54.55%	16	145	92	63.45%	16
8		経営学部	121	56	46.28%	39	126	70	55.56%	48
9		現代心理学部	121	65	53.72%	8	125	76	60.80%	21
10		異文化コミュニケーション学部	85	60	70.59%	71	78	62	79.49%	61
11	研究科	ビジネスデザイン研究科	47	27	57.45%	12	37	27	72.97%	7
12		21世紀社会デザイン研究科	43	16	37.21%	8	38	16	42.11%	7
13		異文化コミュニケーション研究科	14	4	28.57%	0	6	3	50.00%	0
14		文学研究科	1	0	0.00%	0	4	1	25.00%	0
15		キリスト教学研究科	9	1	11.11%	0	8	2	25.00%	0
16		経済学研究科	4	2	50.00%	0	4	3	75.00%	3
17		理学研究科	0	0	0.00%	0	1	0	0.00%	0
18		法務研究科	40	22	55.00%	8	44	23	52.27%	12
19	その他	全学共通カリキュラム	516	263	50.97%	84	542	285	52.58%	58
20		学部講座	81	40	49.38%	7	83	44	53.01%	10
21		社会情報教育研究センター	7	7	100.00%	6	7	7	100.00%	13
22		グローバル教育センター	16	4	25.00%	3	14	6	42.86%	8
23		英語ディスカッション教育センター	52	2	3.85%	0	53	2	3.77%	0
24		ランゲージセンター	45	34	75.56%	9	44	36	81.82%	13
25		日本語教育センター	15	15	100.00%	9	15	14	93.33%	16
26		大学チャペレン室	2	0	0.00%	0	2	1	50.00%	0
27		立教セカンドステージ大学	17	1	5.88%	0	18	2	11.11%	0
28		GLAP運営センター	4	4	100.00%	0	7	4	57.14%	0
29		立教サービスラーニングセンター	1	1	100.00%	1	2	2	100.00%	0
30		立教学院史資料センター	1	1	100.00%	0	1	1	100.00%	0
31		外国語教育研究センター設置準備室	-	-	-	-	3	3	100.00%	1
32		大学教育開発・支援センター	-	-	-	-	2	2	100.00%	0
33		不明	-	-	-	78	-	-	-	84
		合計	2433	1304	53.60%	637	2494	1474	59.10%	653

表 2 : 学部別利用者数・問合せ件数

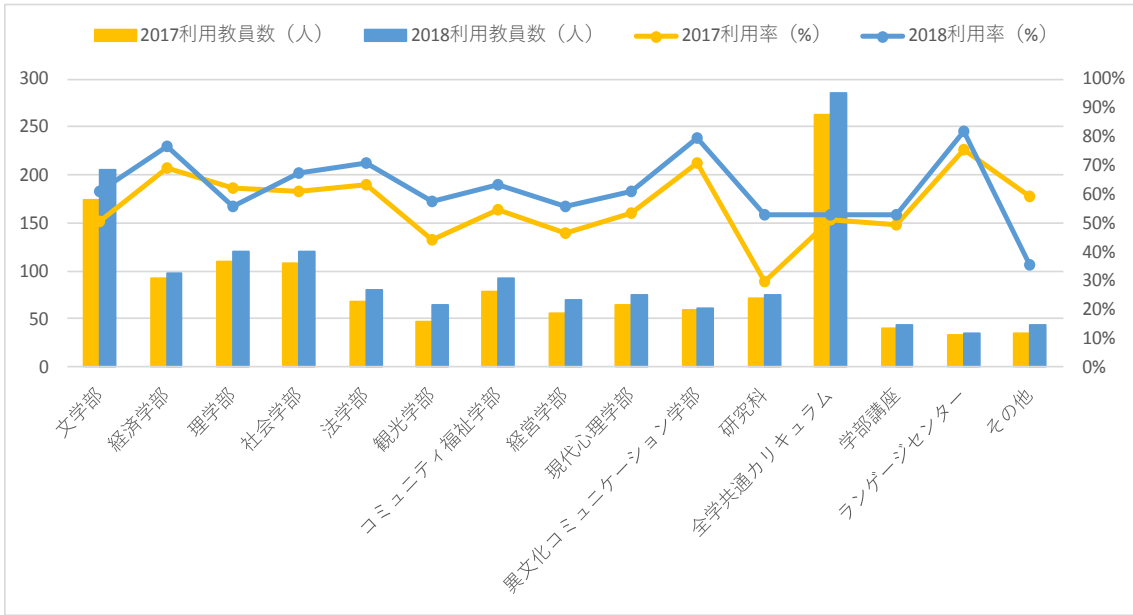


図 3 : 学部別利用教員数・利用率

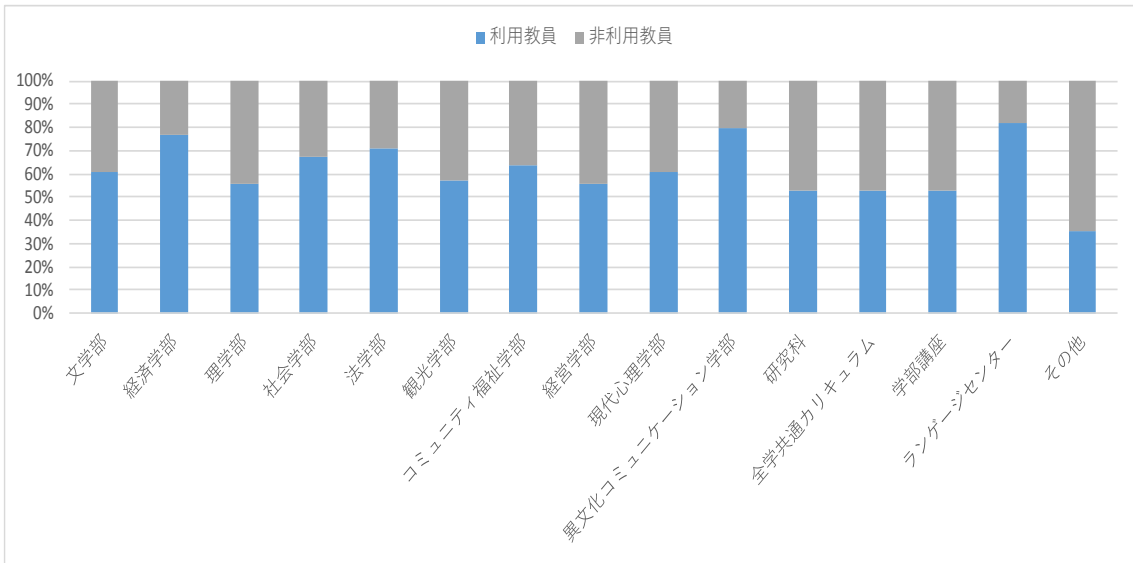


図 4 : 学部別利用者割合

4. 問い合わせ状況

問合せ数は利用者とは逆に減少しており、課題機能では81件と大幅に減少した。ユーザー登録、Turnitin(類似性判定)、コンテンツ(教材)の主要機能も減少しているが、件数としてはまだ多い状況が継続している。

(1). 問合せ(2018年度)

※順位は春学期と秋学期の合計数の降順

	機能	2018 春学期	2018 秋学期	増減数
1位	コンテンツ(課題)	158	104	-54
2位	ユーザー登録	63	58	-5
3位	Turnitin(類似性判定)	61	51	-10
4位	コンテンツ(教材)	62	43	-19
5位	コース設定	44	52	+8
6位	成績管理	27	31	+4
7位	出席管理	27	26	-1
8位	コンテンツ(テスト)	28	12	-16
9位	メール・メッセージ	19	15	-4
10位	掲示板	17	9	-8
11位	オンデマンド授業	9	10	+1
12位	コンテンツ管理	5	4	-1
13位	お知らせ	5	3	-2
13位	ログイン	1	7	+6
15位	アンケート	1	5	+4
	合計	527	430	-97

表3：機能別問合せ件数春秋比(2018年度)

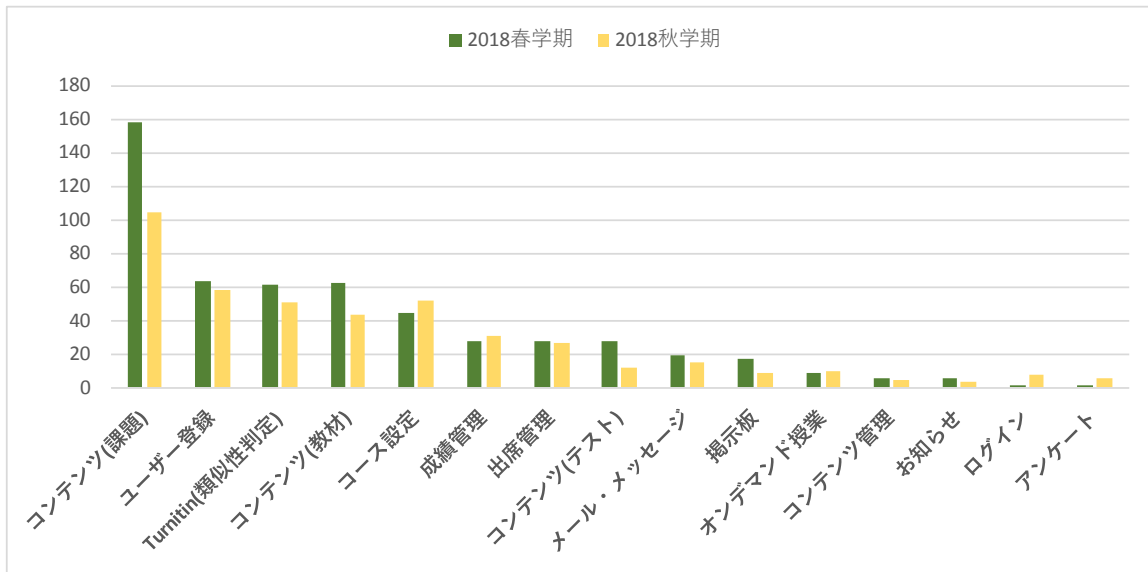


図5：機能別問合せ件数春秋比（2018年度）

(2). 問合せ(前年度比)

※順位は2018通年の件数の降順

	機能	2017 通年	2018 通年	増減数
1位	コンテンツ(課題)	343	262	-81
2位	ユーザー登録	124	121	-3
3位	Turnitin(類似性判定)	130	112	-18
4位	コンテンツ(教材)	121	105	-16
5位	コース設定	90	96	+6
6位	成績管理	48	58	+10
7位	出席管理	54	53	-1
8位	コンテンツ(テスト)	24	40	+16
9位	メール・メッセージ	27	34	+7
10位	掲示板	25	26	+1
11位	オンデマンド授業	6	19	+13
12位	コンテンツ管理	11	9	-2
13位	お知らせ	10	8	-2
13位	ログイン	11	8	-3
15位	アンケート	14	6	-8
合計		1038	957	-81

表4：機能別問合せ件数前年度比較

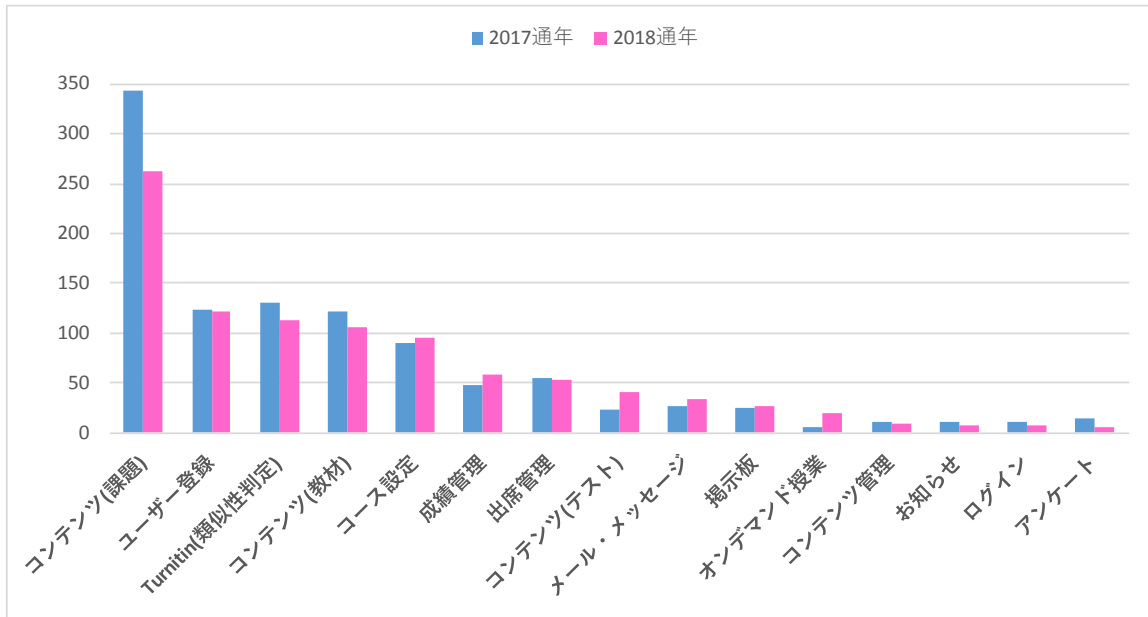


図6：機能別問合せ件数前年度比較

(3). 問合せ(手段別)

※教員以外からの問合せも含む

2017年度と比較し、電話での問合せが101件減少して591件、問合せフォームは35件減少して144件となった。Blackboardへの移行が完了した教員や、2年生以上の学生からの問合せが減少したのではないかと推測される。

	2017年	2018年
電話	692	591
メール	107	117
対面	246	254
問合せフォーム	179	144
合計	1224	1106

表5：問合せ手段別受付件数

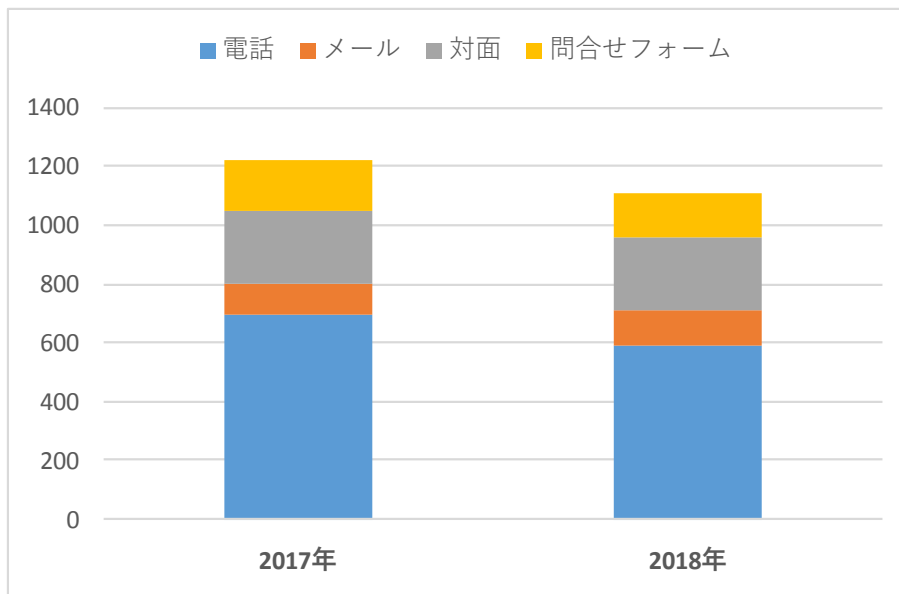


図7：問合せ手段別受付件数

5. 2018年度のまとめ

前年度に続き、ほぼすべての学部で利用率が上昇し、専任教員に関しては80%を超えるなど利用者が増加しているが、問合せ件数は減少した。これは、マニュアル整備や移行済みの教員が含まれるためだと考えられる。今後もマニュアルをウェブサイトでの運用に切り替える際の内容の見直しと更新、システムで改善できない問題の表示文言修正対応を進め、問合せ件数の減少を図る。

CHORUS から Blackboard への移行はほぼ完了しているようで、CHORUS 関連の問合せ件数は2件のみとなった。